

基督教学研究

第 24 号

論文

キリスト教思想と形而上学の問題	……………	芦名定道	一
田村直臣の「児童中心のキリスト教」	……………	帆 莉	三
四世紀イラクにおける地域文化としてのキリスト教	……………	武 藤 慎 一	三
——そのマイノリティーとしての自己意識——	……………	咒	三

研究

初期ティリツヒ『組織神学』構想の意義	……………	近 藤 剛	三
神を映し出す鏡	……………	大 月 栄 子	七
——偽ディオニシオス・アレオバギテスにおける天上の存在者の位階づけ——	……………	津 田 謙 治	三
テルトウリアヌスとマルキオン・カノン	……………	今 出 敏 彦	一〇七
——「異端者への抗争」と「マルキオン反駁」における異なる論点を巡って——	……………	鬼 頭 葉 子	一三
……………	……………	岩 野 祐 介	一三
人間の生に仕えるものとしての精神の生	……………	……………	……………
——ハンナ・アーレントの「精神の生」の構想——	……………	……………	……………
後期ティリツヒにおける歴史をめぐる問題	……………	……………	……………
——問いの構造について——	……………	……………	……………
内村鑑三の「近代批判」と再臨運動	……………	……………	……………
——社会から個人へ、そして再び社会へ——	……………	……………	……………

彙報

彙報

二〇〇四年度キリスト教学専修講義題目

片柳榮一 教授

講義 「キリスト教学概論」

特殊講義 「自由論の宗教哲学的課題」

演習 「アウグスティヌスの『三一神論』(原典演習)」

演習 「ローマ人への手紙(原典演習)」

芦名定道 助教授

特殊講義 「日本・アジアのキリスト教(植村—海老名キ

リスト論論争)」

演習 「Alister E. McGrath, The Foundation of

Dialogue in Science & Religion」

片柳榮一教授・芦名定道助教授

演習 「キリスト教学の諸問題」

竹田文彦 講師

特殊講義 「古代キリスト教における教理形成」

Martin Repp 講師

演習 「C・H・ラッチョウの宗教哲学」

勝村弘也 講師

語学 「ヘブライ語文法と講読」

大石祐一 講師

講読 「R. Bultmann, Jesus」

二〇〇三年度論文題目

修士論文

岩野祐介 「近代批判者として見た内村鑑三——再

臨運動へ向かうキリスト教思想と個人主義

批判を中心に」

鬼頭葉子 「後期ティリッヒにおける歴史をめぐる問

題——「歴史の意味の問い」の構造」

卒業論文

大久保聡 「告白」に見られるアウグスティヌスの創

造思想」

京都大学基督教学会規約

一、本会は京都大学基督教学会と称し、事務局を京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科キリスト教学研究室に置く。

二、本会は基督教学研究の進展を目的とする。

三、本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う。

(一) 研究発表会、講演会などの開催

(二) 学会誌『基督教学研究』の発行

(三) 内外の研究機関及び研究者との相互交流

(四) その他の必要な事業

四、本会は基督教学の研究に従事する者、もしくは本会の趣旨に賛同する者をもって会員とする。入会は委員会の承認による。

五、本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

会員は年会費五千元を納めるものとする。会員のうち年額一口五千元を二口以上納めるものを維持会員とする。

六、本会の運営のために次の委員を置く。

(一) 代表者 (一名)

(二) 委員 (若干名)

(三) 監事 (一名)

代表者、委員、監事は会員の間から選出し、任期を二年とし、再選を妨げない。

七、本会は毎年総会を開き、会計及び一般報告を行い、必要事項を協議する。

八、本規約は委員会の発議に基づき、総会において変更することができ。

(本規約は一九九八年二月から施行する。)

代表者：小池三郎

委員：高野晃兆、林 忠良、片柳榮一、宮庄哲夫、

勝村弘也、芦名定道、武藤慎一

監事：水垣 渉

執筆 者

芦 名 定 道	京都大学大学院助教
帆 苺 猛	関東学院大学助教
武 藤 慎 一	大阪府立工業高等専門学校校助教
近 藤 剛	神戸国際大学非常勤講師
大 月 栄 子	京都大学大学院文学研究科後期課程
津 田 謙 治	京都大学大学院文学研究科後期課程
今 出 敏 彦	京都大学大学院文学研究科後期課程
鬼 頭 葉 子	京都大学大学院文学研究科後期課程
岩 野 祐 介	京都大学大学院文学研究科後期課程

『基督教学研究』投稿規定

- 一、寄稿者は本学会員にかぎる。
- 二、内容は未発表の学術論文であること。採否ならびに掲載の時期は、査読委員による査読の報告に基づき、編集委員会が決定する。
- 三、寄稿原稿は、論文については四〇〇字詰原稿用紙四〇〜五〇枚（註・図表などを含む）相当、研究については三〇枚相当とする。
- 四、寄稿原稿の執筆細目および査読審査規定については、別途、原稿執筆要項等の内規にて定めることとする。
- 五、寄稿原稿には、欧文タイトル、執筆者欧文氏名を付記すること。
- 六、原稿が採用された場合、執筆者には抜刷三〇部を贈呈する。（本規定は二〇〇〇年一月一六日から施行する）

第二十四号編集実務委員会

小池三郎
高野晃兆
林忠良
片柳榮一
宮庄哲夫
勝村弘也
芦名定道
武藤慎一

二〇〇四年十二月二十日印刷
二〇〇四年十一月三十日発行

定価一五七五円
(本体一五〇〇円)

発行者

京都大学基督教学会
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科
キリスト教学研究室内

発行人

小池三郎

発売元

㈱一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10

印刷所

㈱アイワード

本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、
もしくは、右記、京都大学基督教学会（振
替〇一〇三〇一五―七二〇七）へ、送料と
も一七八五円（定価一五七五円、送料二一
〇円）を添えてお申込み下さい。

JOURNAL
OF
CHRISTIAN STUDIES
KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol.24

December, 2004

Contents

- Christian Thoughts and the Problem
of Metaphysics*Sadamichi Ashina
- Tamura Naomi's "Child-Centered Christianity"Takeshi Hogari
- Christianity as a Local Culture in Fourth-Century Iraq:
Its Self-Identity as a Minority*Shinichi Muto
- Über den Entwurf zur systematischen Theologie
im Frühwerk Paul Tillichs*Go Kondo
- Speculum in quo Deus reflectur: De Statu Angelorum
in Pseudo-Dionysio*Eiko Ootsuki
- Tertullianus et Canon Marcionis:
Duae Contestatione Differente de "De Praescriptione
Haereticorum" et "Aduersus Marcionem"*Kenji Tsuda
- The Life of the Mind as ancilla vitae humanae:
The Plot for "The Life of the Mind"
in Hannah Arendt's Thought*Toshihiko Imade
- Problem of History in Paul Tillich's late works:
What is "the Question of Meaning of History"?*Yoko Kito
- K. Uchimura's "Criticism on Modernism" and
the Second Coming MovementYusuke Iwano

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan